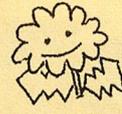


暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして
みんなが
住んでよかつた
と思える川西市に...

たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 **黒田みち**

市会議員団控室 TEL740-1111 (内線4020)
直通FAX759-1811
黒田みち事務所 TEL 795-4760
たんぽぽだよりブログ
http://kurodamich.exblog.jp



「足元まで戦争が・・・」 「まだ始まっていない。まだ、間に合う」 台湾の隣の島までミサイル計画の「恐怖」



↑ 東京～広島・通し行進者(左端)

今年も元気に「全国縦断・平和大行進」 東京～広島の通し行進 75歳女性に敬意

核兵器禁止を訴える全国縦断「国民平和行進」が7月7日、大阪から兵庫県・川西市がバトンを引き継ぎました。5月6日に東京・夢の島にある第五福竜丸・展示会場から広島をめざして行進。いつも、同じ日、同じ時刻に川西入りし、16日の岡山県へとつなぐ、兵庫の受け入れ集会和出発式が行われました。

歌声と共に、受入れの川西市役所前では、行進者の方に冷たいお茶が配られ、出発式では、越田謙治郎市長や西山博大市議会議長からメッセージが送られました(代読)。日本共産党からは、こむら潤国政事務所長、庄本悦子県議会議員、私たち市議員団3人も参加、行進しました。

コロナ禍の中で、行進コースの変更など様々な工夫をしながらも中止することなく実施、バトンがつながれていく平和行進。今年も、12時の受入れ前10時30分から川西能勢口2階通路で、兵庫県の通し行進者の方々と一緒に「日本政府は核兵器禁止条約に調印を」「岸田大軍拡政策ストップ」を訴え、署名・宣伝を行いました。

今年の通し行進者(東京～広島)は被爆2世75歳の女性。とって元気で明るくご挨拶されていることに敬意を表しながら、宝塚・雲雀丘駅前まで行進ご一緒させていただきました。

(いつもなら宝塚のあいあいパークが引継場所)

今年は核兵器禁止条約が国連で採択されてから6周年の記念日。7月7日は日本の侵略戦争の発端となった盧溝橋事件の日です。平和を求め続け核兵器廃絶までの粘り強い取り組みが続けられ、核兵器禁止条約参加を求める日本政府への署名(日本原水協)は、昨年分と今年分と合わせて130万4019筆となりました。

被爆者の方々の粘り強い草の根の活動が、世界を動かしています。諦めないこと、訴え続けていくこと。二度と再び戦争の惨禍に巻き込まれることがないように、被爆することが決してないように、行動していきましょう。

沖縄の映画と報告会で沖縄のリアルを学ぶ

「自衛隊ミサイル配備で沖縄はどうなる 映画と現地報告を聞く会」が7月16日、川西商工会館であり、私(黒田)も実行委員会の一員として参加しました。

宮古島、石垣島に続き、台湾から110kmの与那国島にも自衛隊のミサイル部隊の配備が計画されるなど「南西諸島のミサイル基地化」が進む。足元まで戦争が近づいている「戦争はまだ始まっていない」「まだ間に合う。止められる」といった切迫した状況が映画と報告から伝わってきました。

主催は九条改憲NO！全国市民アクション川西実行委員会。

会場いっぱい150人参加

当日は、沖縄物産や憲法署名、ジユゴン絵葉書きなどのブースを設置。三上智恵監督の「沖縄、再び戦場へ(仮題)」スピンオフ版を上映した後、ミサイルいらぬ宮古島住民連絡会共同代表の清水早子さんの現地オンライン報告を受けました。参加者は150人で会場いっぱいでした。

知らない内容に恐怖

参加した方からは、「沖縄のことを

あまりにも知らせない、報道されていない内容に恐怖を感じる」「住

民が、日常を守りたいと言っているだけに強行されていることに大きな憤りを感じる」などの感想が聴かれました。「沖縄物産がすぐに売れてしまっていて残念だった」という声もあり盛況だったことが伺えます。

会場でカンパ、83063円

三上智恵監督が2024年春完成予定の映画「沖縄、再び戦場へ(仮題)」を前に製作協力金カンパの協力を訴えておられ、会場でも83063円の力

ンパが寄せられました。

監督は、辺野古基地建設だけでなく、宮古島に陸上自衛隊がやってきた、住宅からわずか200mの所に弾薬庫が建設される(保良)、シエルターの建設など、沖縄ではすでに戦争がはじまっているような危機感があ

平気で約束反故に

清水早子さんからは、国が弾薬庫もヘリパッドも作らないとしていた約束を反故にし、自衛隊駐屯地・弾薬庫を作るだけでなく、米軍海兵隊と自衛隊の共同演習「ヤマサクラ」では軍事演習が行われている不条理さ、安心して住み続けたいという住民を裏切り、踏みつけている現状が生々しく語られました。

「戦争かっこいい」にしない

私たちの身近な伊丹でも、陸上自衛隊第3師団司令部・千僧駐屯地で

5月21日、創立記念行事として実戦形式の模擬演習、155ミリ榴弾砲など大砲の大爆音を響かせる、装機(キヤタピ)車の荷台にこどもを乗せて走行させる、武器装備の展示場では、給水車から放水銃を人形を標的にして発射させるなどの催しが行われています。

着実に、地域住民が「こどもが大爆音で泣くのでやめてほしい」と言っても強行し、「戦争はかっこいいもの」という印象付けの活動などに拍車がかかっています。

私(黒田)も、知らなかった。やむを得なかった、ではなく、皆さんと一緒に情報を共有して、声をあげ行動していきたいと強く感じた。

参加された皆さん、ありがとうございます。ごいままし。預かったカンパは、全額、映画製作の方へ送金しました。

私(黒田)も、知らなかった。やむを得なかった、ではなく、皆さんと一緒に情報を共有して、声をあげ行動していきたいと強く感じた。



「はだしのゲン」実写版上映会

8月9日(水)午後2時～3時30分(前半) 黒田みち事務所 笹部1-13-25
9月13日(水)午後2時～3時30分(後半) 072(795)4760

どなたでも、お気軽にご参加ください。お待ちしております